

モーツァルト:

セレナード 第13番 ト長調 K. 525 「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」

- 第1楽章 アレグロ
- 第2楽章 ロマンツェ(ロマンス)アンダンテ
- 第3楽章 メヌエット
- 第4楽章 ロンド

Artists 川田知子(ヴァイオリン)/傳田正秀(ヴァイオリン)/篠崎友美(ヴィオラ)/宮田大(チェロ)/山崎実(コントラバス)

シューベルト:

ピアノ五重奏曲 イ長調 op. 114, D. 667 「ます」

- 第1楽章 アレグロ・ヴィヴァーチェ
- 第2楽章 アンダンテ
- 第3楽章 スケルツォ、プレスト
- 第4楽章 主題と変奏、アンダンティーノ
- 第5楽章 アレグロ・ジュスト

Artists 若林 顕(ピアノ)/川田知子(ヴァイオリン)/篠崎友美(ヴィオラ)/宮田大(チェロ)/山崎実(コントラバス)



若林 顕
[ピアノ]
Wakabayashi Akira

東京藝術大学を経て、ザルツブルク・モーツァルトウムおよびベルリン芸術大学院卒。田村宏、ハンス・ライグラフの各氏に師事。1987年にエリザベト王妃国際コンク

ール第2位受賞の壮業を果たし、一躍脚光を浴びる。2002年カーネギーホールでのリサイタルをはじめ世界各地でリサイタルを行う一方、国内外の数多くのオーケストラと共演を重ね、その音楽に対する真摯な姿勢は、指揮者、オーケストラからの信頼も厚い。また、国際的なアーティストとの共演による室内楽にも積極的に取り組んでいる。2005年には「ショパンとラフマニノフの世界」と題したリサイタル・シリーズを東京にて開催、数多くの高い評価を得た。近年、ピアノ協奏曲の弾き振りを中心とした指揮活動も開始。1992年出光音楽賞、1998年モービル音楽賞奨励賞、2004年ホテルオークラ賞受賞。桐朋学園大学特任教授。



川田知子
[ヴァイオリン]
Tomoko Kawada

東京藝術大学を首席で卒業。小林武史、沢和樹、田中千香士、原田幸一郎、堀正文の各氏に師事。1999年第5回シュボア国際コンクール優勝。モスクワ・フィルをはじめ

め、国内外のオーケストラのソリストとして活躍し、サンクトペテルブルグで行われたサンクトペテルブルグ交響楽団定期演奏会でも絶賛を博している。2002年デビュー10周年を迎え札幌と東京でリサイタルを行う。徹頭徹尾一時も欠かさず集中力でイザイの無伴奏ヴァイオリン・ソナタ全6曲を見事に弾ききり、大絶賛を浴びる。2003年4月、CD「オペラ座のヴァイオリン弾き〜ヴァイオリンが唄うオペラ・アリア集」をリリース。2003年度、第33回エクソンモービル音楽賞、洋楽部門奨励賞を受賞。9〜10月には、平成15年度国際交流基金日本文化紹介派遣事業でトルコ及びエジプトでリサイタルを行う。宮崎国際音楽祭に毎年参加。中野 振一郎とは息のぴったりあったデュオで好評を博している。



傳田正秀
[ヴァイオリン]
Denda Masahide

仙台フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスター。父の手ほどきにより3歳よりヴァイオリンを始め

てウィーン国立音楽大学、ウィーン市立音楽院室内楽科に留学。全日本学生音楽コンクール全国大会1位、日本クラシック音楽コンクール全国大会全部門グランプリ、日本音楽コンクール第2位などを受賞。これまでにヴァイオリンを掛谷洋三、中澤きみ子、G.パデフ、G.ビヒラーの各氏に、室内楽をアルテンベルクトリオに師事。



篠崎友美
[ヴィオラ]
Shinozaki Tomomi

桐朋女子高校音楽科を経て、1995年桐朋学園大学を首席で卒業。1992年東京国際音楽コンクール室内楽部門において「斎藤秀雄賞」受賞。1994年ライオネル・ターティス国際ヴィオラコンクールにおいて特別賞を受賞。1997年ミュンヘン国際音楽コンクール第3位入賞。在学中より、アスペン音楽祭、霧島国際音楽祭、宮崎国際音楽祭、北九州国際音楽祭など数多くのフェスティバルに参加している。2002年より新日本フィルハーモニー交響楽団の首席奏者を務める傍ら、サイトウキネンオーケストラ等のメンバーとしても活躍している。



宮田大
[チェロ]
Miyata Dai

3歳よりチェロを始める。2004年第6回全日本ビバホールチェロコンクール第1位。2005年第74回日本音楽コンクールチェロ部門第1位、増沢貴、徳永賞、岩谷賞(聴衆賞)を受賞。

「桐朋学園音楽部門創立50周年記念演奏会」において小澤征爾氏指揮で協奏曲を演奏。若い人のためのサイトウ・キネン室内楽勉強会、小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクト、第22回(東京の夏)音楽祭2006などに出演。これまでに、セントラル覺知交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団などと共演。これまでに宮田豊、室内楽を東京クワルテット、原田幸一郎、加藤知子、今井信子の各氏に師事。現在、倉田淳子氏に師事。桐朋学園音楽部門特待生を受け、桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコース4年在学中。



山崎実
[コントラバス]
Yamazaki Minoru

16才よりコントラバスを始める。2000年桐朋学園大学卒業。卒業後は、バンドネオン奏者の小松亮太率いるタンゴユニットのメンバーとしてライブ活動を行う。ベーシスト

の斉藤徹、井野義典などの即興音楽を中心としたライブに定期的に参加。古川麗生、奥村愛などとユニットを組み新しいジャンルの音楽を志すなど、その活動は多岐に渡る。2001〜2003年国立音楽大学非常勤講師。2003年より群馬交響楽団首席コントラバス奏者。2005年オペラシティ主催のリサイタルシリーズ「B→C」に出演。そのほか、JYACMS、JTアートホール室内楽シリーズ、東京アンサンブル、北九州国際音楽祭、倉敷音楽祭などに参加。現在、室内合奏団「アルクス」、プレイヤーード五重奏者団メンバーとしても活動する。これまでに吉田秀、故江口朝暁、星秀樹、池松宏の各氏に師事。

● 解説者プロフィール



奥田佳道 [音楽評論家] Okuda Yoshimichi

1962年東京生まれ。ヴァイオリンを学ぶ。立教大学でドイツ文学、美学・西洋音楽史を学んだ後、ウィーンに留学。著書に「これがヴァイオリンの銘器だ!」、共著に「音楽と美術の旅ウィーンとオーストリア」「ウィーン完全ガイド」(以上音楽之友社)、「オペラガイド126選」(成美堂出版)ほか。現在「音楽の友」などに寄稿するほか、NHK、日本テレビなどの音楽番組に解説で出演。日本フィル横浜みなとみらいホール定期のプレコンサートトークを担当。九州交響楽団、東京都響、読売日響定期公演の冊子に連載や曲目解説を執筆。北九州国際音楽祭企画アドバイザー、くらし作陽大学講師。